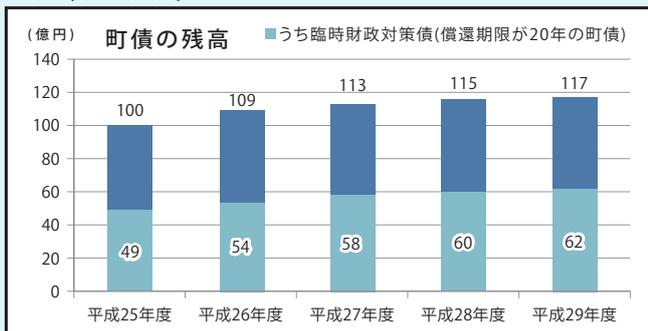


町債(借金)と基金(貯金)の状況

町債(約17億円)

(一般会計分)



臨時財政対策債＝地方自治体の一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法5条の特例として発行される地方債。

基金(貯金)の総額 約28億円

主な基金

単位(億円)

基金の名称	基金額	備考
財政調整基金	10.3	年度間の財源不均衡調整用の積立金
減債基金	3.4	町債の償還・信用維持のための基金
公共施設等整備基金	1.9	
ふるさと創生事業基金	1.3	
ふるさと那須町応援基金	4.0	ふるさと納税(寄附金)による基金
土地開発基金(現金)	1.9	
総合運動公園整備基金	1.2	
介護保険財政調整基金	1.7	
上記以外の基金	2.3	育英資金貸付基金など

監査意見



高藤 昭夫 監査委員



大森 政美 監査委員

①本町の財政状況は、比較的健全な状況にある。歳入の柱である税収は、増収となっているが、固定資産税によるもの(太陽光発電の設置などに伴う)が主たるものとなり、将来的に明るい材料とは言えない。さらに、社会保障費が増え続ける状態である。より厳しい視点での財政運営と産業の振興を図り、収入の確保に努める必要があると考える。

②平成29年度の町税の収納率は90.7%と改善傾向にある。収入未済額も減少傾向にあり、努力の跡がうかがえる。

③事務事業については、概ね事業目的に添い効果的に執行されている。

ただし、多額の財政負担を伴い実施しているいくつかの事業については、民間事業と競合しているものもあるので、今後検討を加える必要もあると考える。

質疑は次のページだよ



町財政を見る3つのポイント!



平成29年度の実質収支額は7億7843万8千円の黒字決算となり、概ね健全な状態にはあります。将来負担比率も29年度末で55.5%となり、昨年度から3.7ポイント改善している状態です。しかし、町の借金の額が総額117億円となっている現状もあります。議会として、今後も注視していきたいと思えます。

1

実質公債費比率

8.5

(昨年比-0.3)

1年間に支払った借入金返済額などの割合です。

2

経常収支比率

92.8%

(昨年比+0.1%)

町財政の弾力性を表す指標で、低ければ政策的に使えるお金が多くあることを示しています。おおむね70~80%が標準とされています。

3

財政力指数

0.766

(昨年比-0.003)

収入の安定性を推測する指標で、過去3年の平均値。「1」に近いほど財政力があるとみられます。